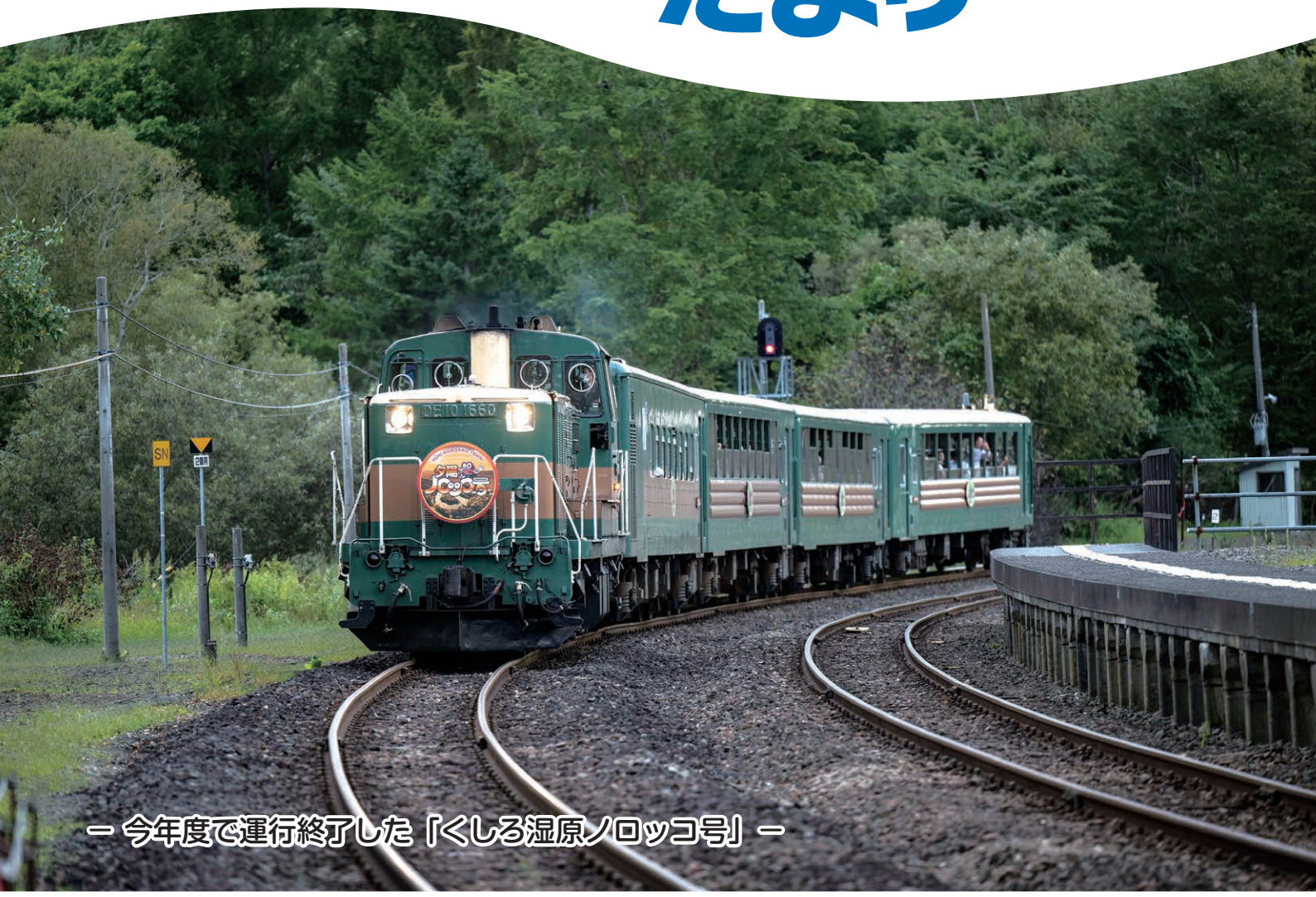
SHIBECHA

しべちゃ 議会だより



― 今年度で運行終了した「くしろ湿原ノロッコ号」―

第146号
令和8年11月1日発行
発行／標茶町議会
編集／広報委員会
電話／(015) 485－2111
住所／標茶町川上4丁目2番地

9月第3回定例会（9月8日～9日）

令和8年度標茶町一般会計補正予算
令和8年度標茶町介護保険事業特別会計補正予算

一般質問 **町政を問う** 6名 10件の質問

- 条例改正4件（税、印鑑、育成牧場、めん羊）
- 諮問2件（人権擁護委員候補者推薦）
- 総務経済委員会、厚生文教委員会：所管事務調査報告
- 議員定数等調査特別委員会調査報告

令和八年・第三回定例会 補正予算可決

一般会計　2億471万3千円の追加

予算総額は112億8771万5千円となりました。

一般会計・主な事業

- みどり認定こども園外構整備工事請負費……833万円
- 道路維持補修工事請負費……4,150万円
- 防雪柵設置等の委託費……1,651万7千円
- DX推進、高校の魅力化向上に資するため
  地域おこし協力隊費用……260万円

介護保険事業特別会計補正予算

- 保健事業勘定……3,626万3千円を追加
  ……総額9億2,465万6千円
- 介護サービス事業勘定……1,573万3千円を追加
  ……総額6億5,699万8千円

選挙

選挙第2号
釧路北部消防事務組合議会議員の選挙について

議員辞職により欠員となった組合議会議員に鴻池智子議員が選出されました。

議案

議案第55号
標茶町表彰条例に基づく被表彰者の決定について

自治功労表彰　1名
教育文化スポーツ功労表彰　1名
社会開発功労表彰　1団体
在住功労表彰　111名
善行表彰　2名
勤続表彰（消防団員）　4名

議会はこれに同意しました。

議案第56号
工事請負契約の締結について

契約の目的　標茶中茶安別線道路改良舗装工事
契約金額　1億3750万円
契約の方法　指名競争入札
契約の相手方　住友・新根特定建設工事共同企業体

議案第57号
標茶町税条例の一部を改正する条例の制定について

地方税法及び地方税法等の一部を改正する法律等の公布に伴い、公的年金等受給者の扶養親族等申告書の提出義務の範囲の見直しに伴う改正、固定資産税の免税点の改正、特定暗号資産取引に係る課税の見直しに伴う規定の新設であります。

議案第58号
標茶町印鑑条例の一部を改正する条例の制定について

「出入国管理及び難民認定法」、「日本国との平和条約に基づき日本の国籍を離脱した者等の出入国管理に関する特例法」及び「電気通信事業法」の改正に伴い、現行の個人番号カードに加え、「特定在留カード」及び「特定特別永住者証明書」を利用してコンビニ交付サービスによる印鑑登録証明書を取得できるとするものです。

議案第59号
標茶町育成牧場条例の一部を改正する条例の制定について

町育成牧場の経営の健全化のため、使用料及び手数料の改正、区分を整理をし、適正な負担を求めるために改正を行い、あわせて条文の整理を行うものです。

議案第60号
標茶町めん羊振興に関する条例の一部を改正する条例の制定について

めん羊事業の収支のバランスの改善を図るため、料金の改正及び区分を整理するものです。

諮問

諮問第1号～2号
人権擁護委員候補者の推薦について

「湊谷 美樹治氏」と「山澤 正宏氏」の2名の推薦について議会は同意しました。

一般質問

町政を問う

財政再建のスキーム（計画）の全体像を明らかにすべきだ

町長 **来年度は96億円程度の予算規模へ**

深見 迪 議員

問 令和8年8月20日の全員協議会で育成牧場施設使用料及び手数料とめん羊料金についての説明があったが、これまで様々な各部署での提案があった。

また、議会が周知しない中で会計年度任用職員が突然フルタイムからパートタイムに変わったり、通常でいえば、来年度も雇用されるはずの職員が雇用を切られたり、さらには様々な事業の縮小、補助金カットなどがあり、これらについては今までの議会の中でも議論があった。

議会は来年度に向けてどの程度の財政再建計画の金額での考え方及びスキームなどを町から知らされていない。

財政再建計画の財政面や総合的な計画、たとえばどの分野でどの程度の財政計画を今後行おうとしているのか金額を含めて明らかにすべきではないか。

答 本町の財政状況については、公債費の増加などにより、財政運営が一層厳しくなることが見込まれる。そのことから歳入歳出の両面から抜本的な見直しを進めていくことが必要であり、標茶町行財政改革推進計画に基づき進めていく。

今年5月から町民説明会を開催し、本町の財政状況や行財政改革の必要性について説明した。

育成牧場の使用料及び手数料、めん羊料金の見直しについても行財政改革の取組として検討している。

来年度に向けた財政再建の考え方としては、限られた歳入に合わせて歳出そのものを見直していくことが基本的なスキームとなる。

来年度の予算規模は96億円を目安としており、行財政改革推進室を中心に、各事業の必要性や効果、将来にわたる財政負担などの観点で事業評価を進めていき、予算規模に見合った歳出構造へ転換していく。

標茶町役場

深見　迪　議員

児童・生徒の安全のため保護者等の負担軽減のために通学時の持ち物軽減を

問　文部科学省は、これまで保護者等負担で毎年購入していた教材（例：算数セット、彫刻刀、裁縫セット等々）を学校備品として整備する通知を出した。それらを自治体が整備できるよう所要の地方財政措置を講じているとあるが、具体的な財政措置の内容について聞く。

　通学時の児童の持ち物については依然としてランドセルのほかに水筒や学習用具など両手がふさがっているような状態が多い。転倒したときなど安全性を保てるか疑問であると考えるがどうか。

時代に即した教育環境へ

答　本町においても、保護者の経済的負担の軽減と児童・生徒の安全確保の両面から、実効性のある取組が必要であると考える。

　文部科学省は令和８年７月、物価高騰から保護者の経済的負担を軽減することを目的とした通知を出している。補助教材の学校備品化、制服・ジャージの指定見直しやリサイクル品の活用などが示されるが、教職員の負担過重や保護者の理解が求められる。

　普通交付税措置がされているが、具体的な算入額の明示はなく、追加増額される性質のものでもない。

　荷物の学校管理や共有化は、通学時の身体的負担軽減及び安全確保に直接寄与するものと考える。

　児童・生徒が安全・安心に通学できる環境の整備と保護者の経済的負担軽減は教育環境の向上に欠かせない要素であり、時代に即した教育環境の整備に努めていく。

デジタル教科書は子どもの学力や健康に悪影響を与えないか

問　紙の教科書からデジタル教科書への転換は子どもの学力や健康にどのような影響を与えるか教育長の所見を聞きたい。

　「デジタルが学校の授業時間を支配すべきではない」としたノルウェーのノルトゥン教育相の日本に対する助言があった。ノルウェーはいわばデジタル教育の先進国であったが、10年経って「生成ＡＩ（人工知能）は小学校では原則使えないようにする」と表明するなど日本とは逆の大転換をしつつあるが、教育長の見解を聞く。

良い影響と懸念される面を見極めていく

答　本年６月、国会においてデジタル教科書を紙の教科書と並ぶ正式な教科書とする法改正が成立した。

　良い影響として、学習面では動画・音声により直感的な理解の促進、学習履歴の即時検索における個別的な学びの効率的な展開が挙げられる。また、発達障害のある児童生徒など、強力に支援する側面を持つ。健康面では教科書の重量を削減できることで、身体的負担などの軽減が期待される。

　懸念される面として、学習面では授業の注意散漫・長文読解力の低下などが指摘されている。健康面では視力低下・姿勢悪化が指摘されている。

　ノルウェー教育相の指摘については、技術導入が目的化し、子どもの発達影響の配慮や学習効果の検証が追い付かないまま拡大した事への反省と理解する。

　反省や検証結果を踏まえ、アナログとデジタルの良さを生かした教科書の使用と指導力の向上に努める。

　ＡＩについては、特に小学校段階における生成ＡＩの利活用に関して、児童の認知発達への影響を考慮し、慎重な見極めが必要である。

デジタル教科書

旧阿歴内小中学校の利活用について

町長　地域の意見を聞いて方向性を

鴻池　智子　議員

問　令和5年2月、総務経済委員会の所管事務調査において、閉校校舎の有効利用をテーマに、旧阿歴内小中学校を視察した。

その後も、同僚議員から数回にわたり、旧阿歴内小中学校の利活用についての質問がされた。

これまでの答弁では、旧阿歴内小中学校を、公民館、農協事業所、消防団施設などを複合的に配置する施設として整備する方向で調整し、令和9年度の移転・共用開始を予定して取り組んでいると伺っている。

しかしながら、現在の厳しい財政状況を踏まえると、当初の計画どおり事業を進めることが適切なのか、改めて検討する必要があると考え、次の点について伺う。

1点目として、旧阿歴内小中学校の利活用について、現在までの具体的な進捗状況を伺う。

2点目として、令和9年度の移転・共用開始という当初の計画について、今後も継続案件として進めていく考えなのか、それとも財政状況等を踏まえ、計画内容や事業規模、スケジュールなどの見直しを考えているのか伺う。

3点目として、外部から旧校舎を利用したいという要望や相談が現在あるのか。また、今後の利用者の募集や活用の可能性について、どのように考えているのか伺う。

閉校した学校施設は、地域にとって貴重な財産であるが、一方で施設を維持・改修していくためには、将来的な財政負担も十分に考慮しなければならない。

単に施設を残すという視点だけではなく、地域の活性化や住民の利便性向上につながる施設として、将来にわたって持続可能な活用方法を検討する必要があると考えるが町としての見解を伺う。

答　1点目として、地域の皆さんのご意見を踏まえ、既存施設の複合化や地域コミュニティ拠点の創出をテーマとし、検討している。一方、近年の物価高騰・維持管理の増加など財政状況は厳しく、具体的な整備事業を進めるに至っていない。将来的な負担も踏まえ、改めて検討する段階と認識する。

2点目として、コミュニティ拠点として一体的に地域の活性化につなげていくという考え方は大切にしていきたい。しかし施設改修・地域機能の集約には相当の財政負担があり、慎重な検討が必要である。町全体の施策との整合を図りながら実施可能性のある活用方法について検討していく。

3点目として、現時点では具体的な事業計画を伴った利活用の申し出はない。今後については民間事業者・地域・団体などから広く提案を受けることも必要であると考える。そのためにも情報発信を行い、幅広く利活用の可能性を探っていくことも検討する。

本町においても人口減・少子高齢化が進む中、既存施設を同じ形で維持することは財政的に困難である。地域における役割などを総合的に検証し、地域の皆さんの意見を伺いながら、一定の方向性を早期に整理していきたい。

旧阿歴内小中学校

観光協会のトイレ改修について

鴻池　智子　議員

問　観光客や地域住民が利用する施設として、トイレ環境の整備は、観光振興や利用者の利便性向上の観点からも重要であると考える。

現在、観光協会のトイレ改修について、今後どのような方向で整備を進めていく考えなのか、改修の必要性や具体的な計画、財源の確保を含め、町の今後の方針を伺う。

例えば、市町村が主体となり整備する観光地であれば「市町村振興宝くじ」の収益金を財源として、自治体独自の予算で改修できる場合もあり、また各都道府県や国の観光庁では、観光協会や民間団体を対象として「観光公衆トイレ整備補助金」や「インバウンド対応トイレ整備補助金」を定期的に募集している。

様々な方法で検討してみ

るべきと考えるが、町の見解を伺う。

制度を活用し対応したい

答 標茶町バスターミナルについては、令和4年から標茶町観光協会で利用しており、観光案内所として利用している。

当面は観光情報発信拠点と位置づけ活動していくが、観光情報発信や特産品を買うことができる施設の在り方については継続した議論が必要な状況である。

将来的な利活用の方向性によっては、トイレ改修だけでなく、全体的な施設改修も考えられることから、関係機関と議論を続け施設の在り方を検討していきたい。

改修を計画した際には補助事業を含め、条件に合った制度を活用し、対応していきたい。

ぽん・ぽんゆ脇に設置されている馬用パドック柵について

シラルトロ歩道を活用しホーストレッキングの開発を企画した

町長

櫻井 一隆 議員

問 ①茅沼温泉施設ぽん・ぽんゆの旧パークゴルフ場の跡地に縦横20メートルの柵が設置されている。設置するに至った理由とその使用目的について伺う。

②資金はどの予算から支出されたのか。また、工事金額について伺う。

③さらに、冬季も使用する計画なのか伺う。

答 ①昨年度、モニターツアーを実施し、環境省、乗馬サービス提供事業者と協議調整の結果、ホーストレッキングコースとしてサービスの提供が出来る事になり、馬の休憩、乗馬の準備を行うパドックを整備した。

②資金は令和8年度当初予算で340万円を措置し、実際の契約金額は366万3千円である。

③事業者が冬期間も希望すれば使用していただく。釧路湿原国立公園内での魅力ある自然体験を提供していく。

ぽん・ぽんゆの馬用パドック柵

地域・自治体主導の取り組みによる個別型バイオガスプラントの促進を

今後とも関係機関と協議を進める

町長

渡邊 定之 議員

問 家畜の糞尿対策として、本町が取り組んできたバイオガスプラントの設置について議論が交わされてきたが、現在のエコヴィレッジ推進協議会での議論はどうなっているか。

バイオガスプラントは地球温暖化などの環境問題の対策としても関心が高く、さらに消化液の肥料効果などについても注目されており、サイレージの質の改善や雑草が減ったという話も聞く。これらの点についてどのように評価しているか。

大型プラントについては、農家からコスト面で導入が困難であるとの議論もされたが、個々の農家が取り組める個別型プラントを導入することにより、地元の業者による設置や維持管理も可能になると考えるがどうか。

国が推進するみどりの食糧システム戦略技術やバイオマス地産地消対策などを研究し、バイオガスプラントの導入を検討するべきではないか。

また、町として固定価格買取制度の延長やクラスター事業の拡充などを要望していくべきと考えるがどうか。

個別型バイオマスプラント

答 本町の農家経営をモデルとして建設費・売電収入・維持管理費・副資材確保のコスト・消化液処理費など具体的に検証し、事業の可能性を研究する。

先行事例を参考に本町の農業環境において同様の効果が引き出せるか研究する。

地元事業者が主体的に関われる仕組み作りも検討する必要があると考える。

政策の方向性を踏まえバイオガスプラントの研究を進め、関係機関と連携し補助金活用で事業スキームを研究する。

標茶高校への更なる支援を

町長　宿泊費の一部支援が基本である

鈴木　裕美　議員

問 標茶高校は平成12年に総合学科をスタートさせた。町は標茶高校をなくしてはならない貴重な財産と位置付けし、標茶高校教育振興会を通じ、通学定期代の一部補助、寮入居生徒への使用料補助などの支援を行っている。

現在、22名の寮生は祝祭日などで連休の場合、舎監が不在になることから、寮は施錠され使用できない。自宅に戻ることが難しい寮生が民間の宿泊施設を利用する場合、教育振興会から1泊5000円の助成があるが、宿泊料金はさらに高く、一部個人負担を余儀なくされている。

このような事情で宿泊する場合の料金について、町が民間宿泊事業者に対し、通常料金よりも安い特別料金の設定を要請し、協議してはと考えるがどうか。

今年は東京から学校の見学に来る人もおり、問い合わせも5件ほどあると聞いている。生徒へのきめ細やかな支援を行うことは、標茶高校への入学希望者を増やすことにつながると思うので、検討してはどうか。

答 寮が3日間閉鎖となるような連休において、自宅に戻ることが出来ない寮生が民間宿泊施設を利用する場合に、本年度から教育振興会で宿泊費の一部として1泊5000円を支給している。

教育振興会も一つの補助団体なので、ここだけに特化して増額をするのが適切かどうかについては予算全体の公平性も含めて検討していく。

釧路湿原かや沼観光宿泊施設の利用状況と周辺整備について

鈴木　裕美　議員

問 釧路湿原かや沼観光宿泊施設はオープンから2年を迎えようとしているが、これまでの町内・町外別の宿泊者数及び日帰り入浴の利用者数を伺う。

また、利用者からの要望や苦情はどのように改善しているか。さらに、この2年間で施設の修理・修繕等に町が支出した金額はいくらか。

町の観光振興計画では宿泊施設周辺を整備し、指定管理者を含めてイベントを企画することとしていたが、整備状況とイベントの開催状況を聞く。

要望は指定管理者と共有する

答 令和6年度の9月30日から年度末までの宿泊者数は町内が156人、町外が1175人。日帰り入浴は町内が3002人、町外が13379人である。

令和7年度の宿泊者数は町内が186人、町外が5593人。日帰り入浴は町内が3485人、町外が15739人である。

令和8年度の8月までの宿泊者数は町内が22人、町外が2561人。日帰り入浴は町内が1620人、町外が7430人である。

利用者からの要望は施設を良いものとしていくための意見と認識しており、指定管理者と情報共有していく。

「くしろ湿原ノロッコ号」運行終了の経緯と影響は

沿線全体で観光振興に取組む

町長　松下　哲也　議員

問　37年にわたり釧路湿原の雄大な景観をゆっくりと眺望できる観光列車として毎年約6万人、これまで延べ220万人の多くの観光客に利用され塘路駅に降り立って頂いたが、車両の老朽化により、10月をもって運行終了の報道があった。これまで町長として要請活動をしているが、何点か伺う。

①来年度の釧網線での観光線区としてのJRの取り組みの説明内容は。

②説明を受け、JR北海道釧路支社長に対し「塘路地域における観光振興に向けた観光列車運行に関する要請」の内容とJRの回答は。

③来年4月から、豪華列車「赤い星」が運行されると言われているが、町との協議内容や運行回数、塘路駅・標茶駅での停車、滞在時間の確保等はどうか。

④ノロッコ号の代替運行の要請を行ってきたが、その成果は。

⑤「くしろ湿原ノロッコ号」の終了は標茶町観光ブランドへの打撃は大きい。新しい観光戦略を構築する必要があると考えるがどうか。

くしろ湿原ノロッコ号

答　JR北海道からは「くしろ湿原ノロッコ号」は車両の老朽化に伴い、本年秋をもって運行を終了する旨の説明があった。来年4月から7月に新たな観光列車「赤い星」が運行される。7月、8月はキハ54型2両編成の臨時列車を20日間、釧路、川湯温泉駅間で運行の方針が示された。しかし各停車駅や、停車時間等の詳細な説明はなかった。

　要望は、ノロッコ号と同様の運行期間、停車時間の確保や運行期間・計画の早期開示。夕暮れの景観を生かすダイヤ編成、9月以降の運行、ラッピング等の魅力創出を要望した。

　「赤い星」の企画は、事前に沿線自治体への相談はなかった。

　また、既存車両の改修は全く考えていないとの回答である。

　管内沿線の自治体や民間事業者とも連携し、釧網線の観光振興に取り組んでいく。

第3回臨時会（8月20日）

選挙

選挙第1号　副議長選挙について

　前副議長の議員辞職により、後任に深見迪議員が選出されました。

副議長　就任あいさつ

深見　迪

　この度副議長退任に伴い選挙が行われ、副議長に選出されました。

　今、本町の財政は見通しのない箱もの建設により、かつてない財政難に陥っています。先人が残してくれていた町の貯えは底をつき、大きな借金を抱えてしまいました。

　無論ここに至るまで議会では事業の賛成、反対を含め激しい議論が行われました。しかし結果として今日の厳しい財政事情を招いた責任は議会もこれを負わなければならないと思っています。

　地方自治法では「地方公共団体（町）は、住民の福祉の増進に努めるとともに、最小の経費で最大の効果を挙げるようにしなければならない」とあります。何よりも主権者である町民のみなさんの意見に耳を傾けることを最優先にした町政、そして、住民福祉の後退だけは何としてもくい止める役割を議会もまた果たさなければならないと思っています。

　その意味で副議長の責を果たすよう、努力してまいります。

総務経済委員会所管事務調査報告書

調査日時
令和8年5月21日（木）
午前10時～

調査場所
標茶町役場議員室

1．調査事項
基幹産業における担い手対策の現状と課題について

2．調査の経過と内容
・担い手対策の現状について
本町では新規就農対策として金銭面での支援だけではなく、標茶町農業研修センター・しべちゃ農楽校を平成27年4月に開設し、研修生の受け入れを行ってきた。研修生の受け入れは、ＪＡしべちゃ、普及センター、ＮＯＳＡＩ、標茶町で構成する「標茶町担い手育成協議会」が窓口となって取り組んできた。今までの新規酪農の実績は、平成29年からの実績でいうと酪農が12戸、肉牛が1戸となっており、さらに現在1組の夫婦が研修生として在籍している。

・今後の課題について
農業情勢の悪化により、新規就農を希望する研修生の確保に苦慮しているのが実態である。円安基調の長期化や物価高騰の影響により、新規就農の際の初期投資が大きくなっていることは大きな課題である。担い手育成協議会では、そのような情勢のもと、居抜き型での就農など、初期投資を極力抑制し、就農させる手法を研究している。また、多様な営農形態での就農、畑作での研修先の確保なども考えている。今後は、町財政状況を考慮しつつ、本町新規就農対策を推進し、計画的に研修生を受け入れ、研修生不在の状況は避けたいと考えている。

3．委員会の所見
・新規就農については、酪農に限らず地球温暖化など気候の変動もあり、先の見通しも考えて野菜や小麦等の畑作も考えるべきである。
・新規就農支援は、新規のみではなく後継者も含めるべきである。
・酪農経営は国の施策に沿って行ってきたが、結果として農業、農村の荒廃が進んでいる。農業が衰退すると標茶町に大きな影響が出る。その意味でまちづくりは農業づくりである。
・本町の基幹産業は酪農である事を改めて認識し、今後は担い手対策を政策の中心に据えるべきである。

搾乳風景

厚生文教委員会所管事務調査報告書

調査日時
令和8年7月21日（火）
午後1時30分～

調査場所
やすらぎ園、標茶町役場議員室

1．調査事項
やすらぎ園の現状と課題について

2．主な調査項目
①令和元年からの入園利用者数の推移
②従業員の人数と配置状況
③冷暖房設備の設置状況
④入浴施設の状況と問題点
⑤避難訓練と管理マニュアルの策定状況
⑥職員研修の状況
⑦園内の行事等について
⑧入居者の要介護度別の人数内訳
⑨現状での運営課題について
⑩今後の運営方針について

3．委員会での主な質問
問 駒ヶ丘荘とやすらぎ園は温泉の湯元は同じであるのにやすらぎ園の温泉の温度は低く、湯量も少ないのは何故か。
答 源泉からやすらぎ園までの距離が遠いので温度も下がる。湯温は25～40度と幅があり、湯量も低下するので真湯で調整し、入浴してもらっている。送湯管が長年使っているので傷んでいる可能性がある。
問 職員研修において、法定研修はオンラインでの受講と説明があったが、法律上の問題はないのか。
答 昨年に北海道の監査の時に説明し、了承された。
問 建物は昭和47年の建設であるので54年が過ぎていて、建替の時期が来ると思うが、今後の定数についてどう考えているか。
答 定数は50人位が適正であると考える。

問　現在の待機者は何人か。

答　要介護3以上では54人で、すぐに入所を希望する人は17人である。

問　入所の制限はあるか。

答　特養では身体拘束を必要とする人の受け入れは法律上禁止されている。やすらぎ園では医療行為を行う資格者が24時間常駐していないので、提供できる医療行為は限られている。

問　デイサービスの利用人数は何人か。

答　1日に20～25人前後である。

4．委員会の所見

・令和元年度の入所者は78人だったが、令和7年度は50人に減少している。短期入所者数は令和元年度は316人だったが、令和7年度においては170人に減少している。主な原因は恒常的な介護スタッフの不足と考える。早急に人員の確保に努めるべきである。

・北棟は昭和49年に開設して築52年となり、各部屋の仕切壁が傷んでいる。修繕はしているものの隙間風が入り、冬は特に寒い。ボイラーについて2機は有るものの97年製造の機械は能力の低下が著しく、入替えの時期が近いと思うので今から備えておくべきである。

・本町におけるやすらぎ園の役割は入居者の受け入れをする事により、介護者の世話をする家族の負担を軽減する等、本町の社会福祉の根幹をなす重要な施設なので、存続させるべきである。

・今後の人口の推移を見ると団塊の世代が85歳以上となるのは6～8年後であり、介護ニーズのピークが来る。運営については、介護スタッフの確保や諸物価高騰、施設の老朽化など問題は山積しており、今後も厳しい状態が続くと想定される。公営から民間への移行も検討すべきである。

・園のあり方については、令和8年5月の標茶町財政健全化調査特別委員会でも議論が始まったばかりだが、施設の老朽化が進んでいるので時間がない。建替えを含め、早急に結論を出すべきである。

標茶町議会議員定数等調査特別委員会報告

1．調査事件

標茶町議会議員定数等に関する調査

2．委員会構成及び調査経過

議長を除く11名の委員により、計6回の委員会を開催した

3．調査結果

現在標茶町は、極度の財政難に陥っている。財政再建を喫緊の課題としながら、日々の住民生活に関する安心の確保、基幹産業の下支え、さらには子育て支援のように未来に希望をつなぐさまざまな施策をどう継続するかに腐心している。そんな中、人口減少が顕著であることから人口規模に見合う議員数の検討と議員のなり手不足解消を念頭に置き、議員報酬の見直しについて議長からの諮問を受け、特別委員会を設置して調査してきた。

議会の大きな役割は、住民の代表として条例の制定・改廃、予算・決算の審査などの意思決定をすることと、決定した予算や事業が計画どおり無駄なく進められているかの監視である。さらに、選挙で選ばれた住民の代表としてその声を代弁し、より良い行政サービスや施策を行政に提案する役割も担っている。

議員定数について、人口減少を理由に機械的に削減することは、広大な行政面積を有する標茶町の地勢もあり、確実に民意の反映機会が減ることにつながる。現在の議員定数が標準的であることと、市街地域を活動拠点とする議員が多い現状や高齢化率が上昇し、電子機器による双方向の情報伝達が難しい状況も踏まえ、議員定数は現状の12名を維持するのが妥当である。

また、議員報酬については、釧路管内最低額で、20年以上据え置かれている現実がある。しかしながら、町の財政状況を鑑み、増額する局面ではなく現状維持が妥当である。

菊地　誠道　議長
北海道町村議会議長会より表彰を受ける
長年にわたる地方議会活動と地域振興への貢献を評価

今回の表彰は、在職25年にわたり地方議会議員として町政の発展と住民福祉の向上に尽力し、地方自治の振興に貢献した功績が評価されたものです。

更には、町政の課題に取り組むとともに議会運営にも尽力し、議長として2期にわたり、町民の声を町政に反映させる議会運営に努めています。

菊地議長は「これまで議会活動を続けてこられたのは町民の皆様をはじめ、多くの方々のご理解とご支援があってのこと。今回の表彰を励みに、これからも標茶町の発展と住民福祉の向上のため、誠実に職責をはたしていきたい」と述べました。

今後も、町民に開かれ信頼される議会づくりと、持続可能なまちづくりに向けた活動が期待されます。

議長在職７年以上及び議員在職25年以上の自治功労者表彰授与

◆◆◆◆ 令和8年　第3回定例会賛否一覧 ◆◆◆◆

※これ以外の議案等は全員一致です。

議案等の内容 ＼ 議員名	櫻井　一隆	本多　耕平	鈴木　裕美	鴻池　智子	黒沼　俊幸	長尾　式宮	松下　哲也	渡邊　定之	深見　迪	菊地　誠道	結果
意見書第１０号 核兵器禁止条約への参加・署名・批准を行うことを求める意見書	○	○	○	×	○	×	×	○	○		原案可決

○ 賛成　× 反対　**退** 退席　**欠** 欠席　（議長は、可否同数以外の採決には加わりません。）

意見書

次の3件の意見書案が提出され、いずれも賛成多数で可決されました。意見書は議長名で国、道の関係機関へ送られました。

《意見書案第９号》
国土強靭化に資する社会資本整備等に関する意見書

《意見書案第10号》
核兵器禁止条約への参加・署名・批准を行うことを求める意見書

《意見書案第11号》
アメリカ産の生食用ジャガイモの輸入解禁に反対する意見書

第三回定例会 議会日誌から

七月二十一日　厚生文教委員会所管事務調査
七月二十二日　全員協議会
七月二十二日　標茶町議会議員定数等調査特別委員会
八月五日　釧路町村議会議長会8月定例会
八月六日　標茶町議会議員定数等調査特別委員会
八月十日　釧路公立大学事務組合議会第2回臨時会
八月十二日　標茶町議会議員定数等調査特別委員会
八月十八日　川上郡衛生処理組合議会第2回定例会
八月二十日　議会運営委員会
八月二十日　第3回臨時会
八月二十日　全員協議会
八月二十日　総務経済委員会
八月三十一日　釧路北部消防事務組合議会第2回定例会
九月四日～九月八日　議会運営委員会
九月八日～九日　第3回定例会
九月八日　標茶町議会議員定数等調査特別委員会
九月八日　厚生文教委員会
九月八日　総務経済委員会
九月八日　議会運営委員会
九月九日　広報委員会
九月二十四日　広報委員会
十月七日　厚生文教委員会所管事務調査
十月九日　広報委員会
十月十四日　第4回臨時会
十月十四日～十五日　各会計決算審査特別委員会

今年で最後になる消防団員技能競技大会

編集後記

議会は財政状況悪化を受け止め、令和7年3月に標茶町財政健全化調査特別委員会を設置しました。委員会は令和8年5月までに計13回開催され、真剣な議論がなされました。

理事者側も各地域で説明会を開催してきました。今日ほど本町の財政について議論されたことはありません。私達議員と町民の皆様と対話を重ね、良い標茶の未来が拓ける様努力してまいります。

（文責　黒沼　俊幸）

令和８年11月１日　発行

発　行・標茶町議会　編　集・広　報　委　員　会
〒088-2312　北海道川上郡標茶町川上4丁目2番地　電　話(015)485-2111(代)　FAX(015)485-3199